

院内感染防止対策について

当院の院内感染防止対策

当院では、急性期医療を担い地域医療に貢献する医療機関として、病院に出入りするすべての人（患者、家族、職員など）を対象に、基本的な「標準予防策」（うつさない、うつらない、広げない）と併せて、感染経路に応じた予防策を実施しています。

院内感染制御チーム（ICT：Infection Control Team）

ICTは、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師のほか、病院長が任命した担当で構成されています。

また、感染リンクナース(各病棟の担当看護師)を配置し、院内感染の防止に努めています。

取組事項

適切かつ安全で質の高い医療を提供することを目的とし、定期的な院内ラウンド（見回り）を行い、療養環境の改善、感染防止に関する助言・指導等を実施し、院内感染発生時には速やかな対応を実践しています。

院内感染防止の基本は、手指衛生です。手洗いの啓発に努め、感染対策に関する基本姿勢を職員にも周知し、意識の向上を図っています。